

防災先進県静岡

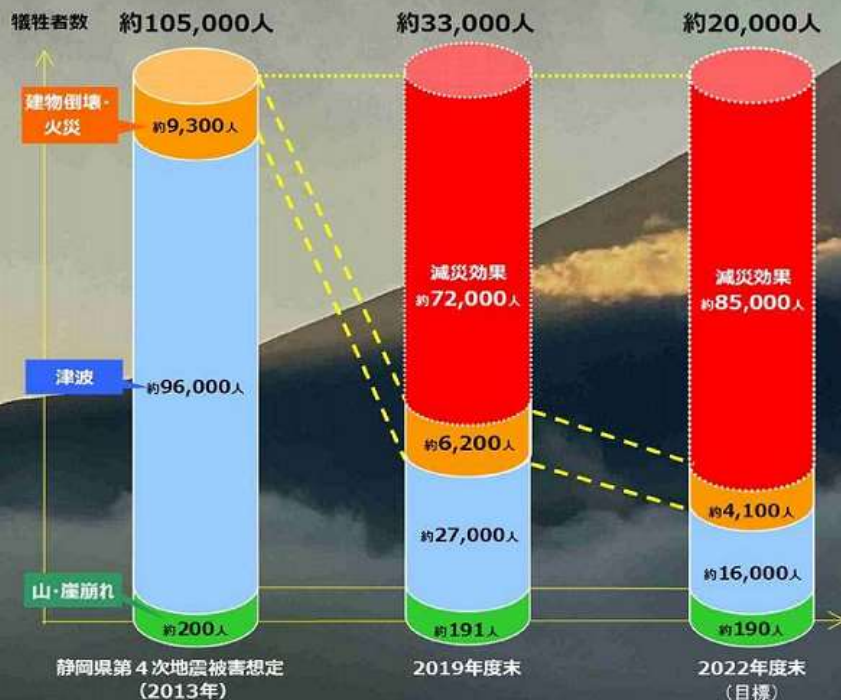
減災目標(数値目標)

想定される犠牲者を
10年間で8割減少

アクションの実行によって
2019年度末時点で

約**72,000人**の
減災効果(試算)
約7割減少

◆静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013による想定犠牲者数の推移



●地震・津波対策アクションプログラムの詳細はP9参照

静岡県は、1976年8月に発表された東海地震説以降、東海地震に備えるため40年余にわたり、ハード、ソフト両面における様々な防災対策を実施してまいりました。

静岡県では現在、2013年度～2022年度の10年間で「想定される犠牲者を8割減少させる」という目標を掲げた「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」に基づき、広範な地震・津波対策に、市町と一体となって取り組んでいます。

◆これまでの実績

昭和54年度～令和3年度

2兆5,563億円



◆全国トップレベルの対策

震災総合訓練への
県民の参加率
29.1%
(全国1位)
(全国平均3.2%)
令和元年度末

木造住宅耐震
補強工事への助成
累計**25,178戸**
(全国1位)
令和3年度末

防災拠点となる
公共施設の耐震化率
98.6%
(全国2位)
(全国平均95.1%)
令和2年度末